



Alter Weekly Order Catalogue

ほんものを たべよう B

2025.2月1週号

提出日
1/ 木 水 木 金
28 29 30 31

配達日
2/ 木 水 木 金
4 5 6 7

翌々週分配達日
2/ 木 水 木 金
11 12 13 14

オルターの提案

- 本当に安全な食べものを手渡すために
○「だれが・どこで・どのようにつくったか」の情報を
日本一公開します。
- 「国産」「無農薬」にこだわり、日本の伝統食を守ります。
- 原料段階・飼育段階からポストハーベスト農薬、
遺伝子組み換え、放射能汚染、トランス脂肪酸、
食品添加物などを徹底的に追放します。
- プラスチック容器・レトルト食品を追放します。

飲料水

水道水のPFAS汚染から 自衛するため

文責 西川 榮郎 (オルター代表)

PCBと同じカテゴリーに分類

自然界で分解されにくいため、永遠の化学物質 (フォーエバー・ケミカル) と呼ばれている、有機フッ素化合物 PFAS の環境汚染が、いま全国で問題になっています。第2の水俣病か、という心配の声すら上がっています。

PFASには1万種以上の化合物が知られています。そのうちの1種PFOAは、日本も批准する国際条約「ストックホルム条約」で、カネミ油症事件で問題となったPCBと同じ、毒性のとくに強いカテゴリーに分類されています。

動物実験で毒性を確認

アメリカのフッ素樹脂加工原料メーカー3Mとデュポンは、1960年代から、共同で動物実験を行い、PFOAにマウスやウサギで肝機能に影響があること、ラットで低体重や目に欠損を患う仔が生まれること、サルでは死亡も確認され、後にその生産をやめる判断に至りました。やめたと言っても、PFOA以外の別のPFASに代替しているだけで、本質的にこの問題が解決したわけではありません。フッ素樹脂加工製品を私たちが使い続ける限り、この問題は続いているのです。

ヒトでも発がん性などを確認

アメリカで2005年から始まった疫学調査の結果、2012年には(1)妊娠高血圧症ならびに妊娠高血圧腎症、(2)精巣がん、(3)腎細胞がん、(4)甲状腺疾患、(5)潰瘍性大腸炎、(6)高コレステロール、という6疾患への影響が確認されています。WHO(世界保健機関)、がん専門機関IARC(国際がん研究機関)では2023年に発がん性があるグループIに認定されました。

大阪府民の血中濃度は全国平均の3倍!! 原因は水道水の汚染

PFASが問題になり始めた当初、フライパンのフッ素樹脂加工の問題やアメリカの製造工場での問題と考えてきました。しかし、沖縄や立川の米軍基地からの石油系火災に使われる泡消火剤からの汚染が、水道水を汚染していることがわかりました。さらに岡山県吉備中央町、兵庫県姫路市の水道水



ゼンケン 淨水器



エンバランス+竹炭



オルター水の会

の高濃度の汚染が発覚しました。

その原因は、産業廃棄物として廃棄、放置されたPFASを含む廃棄活性炭によるものだと判明しました。

そして2024年、京都大学の原田浩二准教授、小泉昭夫名誉教授から、大阪の水道水を飲む大阪府民の血中から全国平均の約3倍の濃度の6つのPFASが検出されたという衝撃的な発表が行われました。

ダイキン1社で全世界の1割をたれ流し

大阪の水道水を汚染してきた主たる原因是、大阪府摂津市にあるフッ素樹脂加工原料の工場、ダイキン淀川製作所が淀川水系の安威川へたれ流してきたPFASによるものだと考えられています。

ダイキン淀川製作所は、全世界で環境へ排出されたPFASの総量の実に1割を環境に廃棄してきました。ダイキンから廃棄されたPFASは大気中にも放出されており、その範囲は関西全域から東海地方へも拡散されていることがわかっています。

工場から出たPFASは、下水処理場、河川水、京阪神の水道水を経由して、私たち大阪府民の体内に侵入してきています。摂津市、大阪市東淀川区では地下水、農作物の汚染も確認されています。ダイキンは大阪府民の柴島浄水場の上流で毒性の強いPFASを捨て続けてきたわけです。

米国、ドイツの基準超えの血中濃度

ドイツ環境庁の健康リスクの予防のためのPFOA基準値は10ナノグラム/mlです。

米国科学・工学・医学アカデミー臨床ガイドでは、腎臓がん、精巣がん、潰瘍性大腸炎、甲状腺疾患のリスクを考慮して、PFOAを含む7つのPFASの合計値は20ナノグラム/mlと基準値が設定されています。

それに対して日本では、国に基準値の設定がなく、水道水において暫定目標値50ナノグラム/Lという、実質野放しの管理のため、水道水の汚染を今も許しています。摂津市民、東淀川区民の17%はドイツの基準を、45%は米国アカデミーの基準を超えていました。

PFASの汚染源

PFASの汚染源は、焦げ付かないフライパンの

フッ素樹脂加工やその原料だけではありません。炊飯器の内釜、防水スプレー、撥水性の衣服、ハンバーガーの包み紙、ケーキのフィルムなど、多岐にわたります。

有効な自衛策

オルター通信No.1875,1876,1877でお知らせしたように、水道水、河川水の汚染は全国各地でも確認されています。幸いPFASは活性炭で吸着できることから、(1)性能が確認された浄水器の使用、(2)竹炭の使用でPFASを吸着・除去する、(3)PFASをそもそも含まない水を飲むなど、安全な飲み水を確保して、自衛に取り組まれることをおすすめします。

水道水を安全に処理する

ゼンケン高性能浄水器

(拙著「あなたのいのちを守る安全な食べもの百科①」p.208参照)

◎スーパーアクアセンチュリー カートリッジ交換
目安24ヶ月 22,000L

◎アクアセンチュリースマート カートリッジ交換
目安12ヶ月 7500L

有機フッ素化合物PFAS(PFOA・PFOS)をしつかり除去します。100ナノグラム程度の汚染水を通水して検出限界2ナノグラム/Lで不検出。

エリクサー

少なくとも約7年間(3万リットル)除去できます。
検出限界5ナノグラム/Lで不検出。

竹炭

(オルターカタログ2011年6月1週号参照)

トリハロメタン、農薬、合成洗剤、塩素、臭いなど低分子物質に対する吸着性能が非常に優れています。

そもそも汚染の心配のない水を飲もう

石見川源流「水の杜」オルター水の会

(オルターカタログ2024年11月1週号参照)